

使用上の注意改訂のお知らせ

2023年8月 沢井製薬株式会社

勃起不全治療剤 処方箋医薬品 バルデナフィル塩酸塩錠 パルデ・ナフィル 錠 10mg「サワイ」 パルデ・ナフィル 錠 20mg「サワイ」

この度、下記のとおり使用上の注意を改訂致しますので、お知らせ申し上げます。 今後のご使用に際しましては、下記の内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容(下線部改訂又は追加箇所)

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

改訂後(新記載要領)

2.10 リオシグアト、CYP3A4を阻害する薬剤(リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、ダルナビルを含有する製剤、ケトコナゾール(外用剤を除く)、イトラコナゾール、エンシトレルビル、コビシスタットを含有する製剤)を投与中の患者[10.1参照]

改訂前(旧記載要領)

【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

8) リオシグアト、CYP3A4を阻害する薬剤(リトナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、ロピナビル・リトナビル、ダルナビルを含有する製剤、ケトコナゾール(外用剤を除く)、イトラコナゾール、コビシスタットを含有する製剤)を投与中の患者(「相互作用」1)の項参照)

(裏面につづく)



改訂後(新記載要領)

10. 相互作用

本剤は、主にチトクロームP450 3A4(CYP3A4)により 代謝される。

10.1 併用禁忌(併用しないこと)

| 10.1 (//////////////////////////////////// | | | |
|--|-----------|------------|--|
| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | |
| アタザナビル | 本剤の血漿中濃度 | CYP3A4阻害によ | |
| (レイアタッツ) | が上昇し、半減期 | りクリアランスが | |
| ホスアンプレ | が延長するおそれ | 減少する。 | |
| ナビル(レクシ | がある。 | | |
| ヴァ) | | | |
| ロピナビル・リ | | | |
| トナビル(カレ | | | |
| トラ) | | | |
| ニルマトレルビ | | | |
| ル・リトナビル | | | |
| (パキロビッド) | | | |
| ダルナビルを含 | | | |
| 有する製剤(プ | | | |
| リジスタ、プレ | | | |
| ジコビックス、 | | | |
| シムツーザ) | | | |
| [2.10参照] | | | |
| エンシトレルビ | 本剤の血漿中濃度 | | |
| ル(ゾコーバ) | が上昇するおそれ | | |
| [2.10参照] | がある。 | | |

改訂前(旧記載要領)

3.相互作用

本剤は、主にチトクロームP450 3A4(CYP3A4)により 代謝される。

1)併用禁忌(併用しないこと)

| 27 177 133 CB (1771) C C C C | | | |
|------------------------------|-----------|-----------|--|
| 薬剤名等 | 臨床症状・措置方法 | 機序・危険因子 | |
| アタザナビル | 本剤の血漿中濃 | CYP3A4阻害に | |
| (レイアタッツ) | 度が上昇し、半 | よりクリアラン | |
| ホスアンプレナ | 減期が延長する | スが減少する。 | |
| ビル | おそれがある。 | | |
| (レクシヴァ) | | | |
| ロピナビル・リ | | | |
| トナビル | | | |
| (カレトラ) | | | |
| ダルナビルを含 | | | |
| 有する製剤 | | | |
| (プリジスタ、 | | | |
| プレジコビッ | | | |
| クス、シムツ | | | |
| ーザ) | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 〈該当項目なし〉 | | | |
| | | | |

2. 改訂理由

自主改訂

相互作用相手薬との記載の整合を図るため、改訂致しました。



改訂後の電子添文につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ(https://www.pmda.go.jp)および弊社の医療関係者向け総合情報サイト(https://med.sawai.co.jp)に掲載致しますので、併せてご参照下さい。

バルデナフィル錠 10mg/20mg「サワイ」

